



鉄道友の会 選定 2021年 島秀雄記念優秀著作賞決定

■単行本部門（2件）

- ・ 藤原義弘『三池炭鉱専用鉄道の略歴と機関車』みらい広告出版（2020）
- ・ 西脇 恵、泉 竜太郎『よみがえる記憶・北陸の鉄路』中日新聞社（2020）

■定期刊行物部門（1件）

- ・ 小野田 滋、加藤幸弘、遠藤晃一、大菅 直「京都市交通局2号電車について」
（エリエイ『レイル』No. 116 掲載）

■特別部門（2件）

- ・ 佐藤良介『京急230形』（ネコ・パブリッシング）ほか一連の著作に対して
- ・ 椎橋俊之『鉄の馬と兵ども』（イカロス出版）ほか一連の著作に対して

鉄道友の会（会長・須田 寛、会員約 3,000 名）は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会（選考委員長・大賀寿郎）による選考のもと、2021年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門2件、定期刊行物部門1件、特別部門2件の合計5件を選定することに決定いたしました。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2021年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■単行本部門（2件）

・藤原義弘『三池炭鉱専用鉄道の略歴と機関車』みらい広告出版（2020）

128年間にわたって大牟田・荒尾の三井三池炭鉱を支え続けてきた三池炭鉱専用鉄道は、炭鉱の閉山後も三井化学専用鉄道として貨物輸送を行っていましたが、2020（令和2）年に全廃されました。本書は、廃止発表の直前に地元で行われた「わがまち三池の炭鉱電車を語る」という講演会の資料に基づき、廃止後に小冊子としてまとめられた記録です。本書では、「炭鉱電車アルバム」として過去の情景を、「三池鉄道地図」「三池鉄道略年表」として三池鉄道の概要を紹介した後、蒸気機関車や電車（電気機関車）などを紹介しています。明治期からの貴重な写真が掲載されていて資料的価値が高く、見やすい構成で地方らしさが随所に感じられる出版物として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

・西脇 恵、泉 竜太郎『よみがえる記憶・北陸の鉄路』中日新聞社（2020）

本書は、1960（昭和35）年から24年間にわたって石川、福井、富山の北陸3県で撮影した1万カットを超えるモノクロ鉄道写真の中から、厳選した500枚の写真を収録しています。地元在住の強みを生かして撮影され続けた鉄道風景は、隆盛を極めた北陸の鉄道が、徐々に路線を減らしていく様子が克明に記録されています。掲載された写真は、車両のみならず鉄道のある情景を記録しており、当時の街並みや暮らしぶりをうかがい知ることができ、単なる鉄道写真集ではなく、鉄道とともに暮らす人々への記録にもなっています。発売後わずか4カ月で6刷に達したことは、鉄道趣味者のみならず多くの人々に共感を与えたことを示しており、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■定期刊行物部門（1件）

・小野田 滋、加藤幸弘、遠藤晃一、大菅 直「京都市交通局2号電車について」（エリエイ『レイル』No.116掲載）

日本で最初に営業を開始した電車として知られる京都電気鉄道（後の京都市交通局狭軌線）の車両について、その買収までの歴史はこれまでほとんど解明されていませんでした。昨年、平安神宮に保存されている京都市交通局2号電車が国重要文化財に指定されましたが、鉄道友の会では文化庁に協力して京都市が所蔵する公文書を調査・研究する機会がありました。この著作はその際の研究グループのメンバーが、成果の一部を一般向けに紹介した著作です。京都

市が保存する図面や資料などを中心に調査・整理して、膨大かつ緻密な表を作成し、わかりやすい写真で丁寧に解説されています。豊富な資料を駆使して京都電気鉄道の車両について解明し、島秀雄記念優秀著作賞にふさわしい記事として選定しました。

■特別部門（2件）

・佐藤良介『京急 230 形』（ネコ・パブリッシング）ほか一連の著作に対して

受賞者は、古くからの京浜急行電鉄ファンとして知られ、これまでも京浜急行電鉄に関する雑誌記事や単行本を多数執筆してきたベテランです。今回の『京急 230 形』（ネコ・パブリッシング（2020））は、その集大成にふさわしい内容で、かつて京浜急行を代表する電車として親しまれた 230 形に的を絞って、その誕生から終焉、そして京浜急行電鉄本社における展示に至る足跡をたどっています。この著書は、「RM LIBRARY」から3分冊で出版され、「上巻」では登場から戦後復興期までが紹介され、「中巻」では京浜急行電鉄の発足後における小型車の活躍を紹介し、「下巻」ではその終焉に至る経緯を解説しています。本書は京浜急行一筋に情熱を傾けた著者の代表作にふさわしい著作であることを評価し、これまでの一連の著作を含めて島秀雄記念優秀著作賞特別部門にふさわしい業績として選定しました。

・椎橋俊之『鉄の馬と兵ども』（イカロス出版）ほか一連の著作に対して

受賞者は、これまでも『「SL 甲組」の肖像』シリーズ（全8巻／ネコ・パブリッシング刊／2007～2014）を刊行しており、のべ500人以上のインタビューによって蒸気機関車の運転に携わった人々の生の証言記録を丹念にまとめた実績があります。著者が一貫して取り上げているのは、現場で蒸気機関車の運行を支え続けた乗務員の生の声であり、当時の写真や資料と共に紹介されることによって、後世に対する貴重な伝承記録となっています。本書は、その延長線上にまとめられたインタビュー記録で、雑誌「蒸気機関車 EX」の連載を1冊にまとめたものです。蒸気機関車の運転に直接携わった世代はすでに少なくなってしまうましたが、全国を訪ね歩いて証言をまとめた努力は、著者の力量によるところが大きく、過去の著作を含めて島秀雄記念優秀著作賞特別部門にふさわしい業績として選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年 1 回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008 年に新設された賞です(今回が第 14 回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門……定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門…… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、過去 3 年間(今年は 2018 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準)を対象としました。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員から推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今回の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員 7 名(委員長・大賀寿郎)で構成しました。また、今回の候補の推薦は、2021 年 1 月より推薦受付を開始し、2021 年 3 月 31 日(火)に締切り、単行本部門 22 作品、定期刊行物部門 11 作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 7-16 ヒューリック市ヶ谷ビル 3 階 鉄 道 友 の 会 (本部事務局) 担当：鹿山、小野田 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://.www.jrc.gr.jp/

<添付資料>

第1回（2008年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
 - ・ 関田 克孝「のりもの絵本－木村貞男の世界－」フレーベル館
- 定期刊行物部門（3件）
 - ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年3月増刊号掲載）
 - ・ 小西 純一「余部橋梁」
（交友社『鉄道ファン』2007年7月号／8月号掲載）
 - ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年7月号／8月号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 鉄道史資料保存会（会報「鉄道史料」の継続出版に対して）

第2回（2009年）選定

- 単行本部門（3件）
 - ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
 - ・ 湯口 徹「日本の蒸気動車」ネコ・パブリッシング
 - ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008年1月増刊号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館

第3回（2010年）選定

- 単行本部門（4件）
 - ・ 和久田 康雄「日本の市内電車」（成山堂書店）
 - ・ 関 崇博「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
 - ・ 奈良崎 博保「九州を走った汽車・電車」（JTB パブリッシング）
 - ・ 宇都宮 照信「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 大熊 孝夫「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 「日本鉄道旅行地図帳の刊行」に対して（新潮社）

第4回（2011年）選定

■単行本部門（3件）

- ・小林 正義「国鉄EF13形」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・安保 彰夫「出石鉄道」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・大田 治彦「西鉄電車おもいでアルバム」権歌書房（2010）

■定期刊行物部門（2件）

- ・初澤 毅「緩衝式車止めの形態と分類」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7月号～9月号掲載）
- ・堀岡健司「鉄道の掲示と行先標の変遷」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「京阪電鉄百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

第5回（2012年）選定

■単行本部門（2件）

- ・白土 貞夫「銚子電気鉄道」ネコ・パブリッシング（2011）
- ・三橋 克己、葛 英一、藤本 邦彦「オハ71形の一族」車両史編さん会（2011）

■定期刊行物部門（1件）

- ・渡利 正彦「岐阜地区の進駐軍輸送の実態を探る」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2011年5月号／6月号掲載）

■特別部門（2件）

- ・「機関車表DVD版の制作」（沖田 祐作）に対して
- ・「貨車に関する一連の著作」（吉岡 心平）に対して

第6回（2013年）選定

■単行本部門（4件） ※発行日順

- ・辻村 功「鉄道メカニズム探究」JTBパブリッシング（2012）
- ・鉄道友の会客車気動車研究会「日本の食堂車」ネコ・パブリッシング（2012）
- ・小関 和弘「鉄道の文学誌」日本経済評論社（2012）
- ・鉄道の「知」を探る編集委員会「鉄道の「知」を探る」山川出版社（2012）

■定期刊行物部門（1件）

- ・澤内 一晃、星 良助「北海道の私鉄車両」（鉄道友の会『RAILFAN』2007年8月号～2012年6月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「機関車史研究会の一連の著作」（近藤 一郎）に対して

第7回（2014年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
- ・ 服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・ 北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

第8回（2015年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 和田 洋「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
- ・ 西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
- ・ 岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

第9回（2016年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）
- ・ 中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載）

■ 特別部門（2件）

- ・ 「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）
- ・ 「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）

第10回（2017年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・中村尚史「海をわたる機関車」吉川弘文館（2016）
 - ・大賀寿郎「路面電車発展史」戎光祥出版（2016）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・フリーランス・プロダクツ「ハイブリッド大全」（交友社『鉄道ファン』2016年1月号掲載）
- 特別部門（3件）
 - ・戦後日本の鉄道カラー写真に関する一連の著作に対して（ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ）
 - ・「昭和天皇御召列車全記録」の編集に対して（新潮社日本鉄道旅行地図帳編集部）
 - ・「置戸森林鉄道」の出版に対して（橋爪実）

第11回（2018年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・名取紀之「紀州鉾山専用軌道」ネコ・パブリッシング（2017）
 - ・KEMURI PRO. 「阿里山森林鉄道」南軽出版局（2017）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・中山嘉彦「日本初の連節車京阪電気鉄道60型・びわこ号」（『レイル』No. 103 掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・「釧路・根室の簡易軌道」（釧路市立博物館）の出版に対して

第12回（2019年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・久保ヒデキ「定山溪鉄道」北海道新聞社（2018）
 - ・風間克美「地方私鉄1960年代の回想」OFFICE NATORI（2018）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・山本直弘「駅ナンバリング考」（交友社『鉄道ファン』2017年12月号～2018年3月号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・「全国蒸気機関車配置表」（イカロス出版）の出版に対して

第13回（2020年）選定

- 単行本部門（3件）
 - ・清水武、田中義人「名古屋鉄道車両史」アルファベータブックス（2019）
 - ・青田孝「鉄道を支える匠の技」交通新聞社（2019）
 - ・在羽テヌヒト（田嶋玲）「黎明期の貨車移動機」交現社在羽製作所（2019）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・高田圭「JR奈良線の歴史を探る」（エリエイ『レイル』No. 109 掲載）
- 特別部門（2件）
 - ・「ニチユ機関車図鑑」（イカロス出版）ほか一連の著作に対して（岡本憲之）

・「むかし、秋保まで鉄道が走ってた。」ほか一連の企画に対して（東北福祉大学・鉄道交流ステーション）